

2022年度／単年度計画

2022年度取組方針

✈ 基本的な考え方

「リージョナル・ランドマーク・エアポート」の実現に向け、公共施設等運営権制度の下での新たな組織・運営体制及び県・促進協と連携した航空営業体制を確立するとともに、二次交通施策の検討や新規就航受入のための環境整備などに取り組みます。

また、アフターコロナへと向かう各段階での適時適切な対応、さらにその先の需要拡大を見据えた戦略立案と打ち込みを行います。

✈ 旅客数等目標値

	2021年度 (見込み)	2022年度 (目標)
旅客数	18万人	50万人
国内線	18万人	42万人
国際線	0万人	9万人
貨物量	2t	91t

静岡空港お見送りプロジェクト（2021年）



✈️ 空港活性化に関する計画

旅客数及び貨物取扱量の増加

- 提供座席数の引き上げに向けた活動
- 搭乗率を向上するための活動
- 料金体制の整備
 - ・ PSFC導入に向けた準備
- アクセスバスの路線維持・利用促進
- 空港ファシリティの運用準備と実運用
 - ・ 国際線チェックインカウンター運用準備
 - ・ 新設5番ボーディングブリッジの実運用

空港利用者の利便性拡大向上

- ストレスのない空港滞在時間の実現
 - ・ 自動チェックイン機および国際線セミインライン方式の運用準備と実運用
- 二次交通の維持・強化
- JNTOカテゴリー3取得に向けた準備



自動チェックイン機設置
(ターミナルビル1F)

旅客ターミナルビル入館者数の増加・ビジネスジェット等の利用拡大

- 空の日や富士山の日、ランウェイウォークなどを通じた集客イベントの実施
- 空港周辺地域と県西部をターゲットとした媒体作成・配布
- ビジネスジェットに係る諸官庁や事業者との利用拡大に向けた協議

地域連携事業

- 県内観光資源と連携した旅行商品やイベントの造成
- 県内DMOと連携した地域の観光資源等の情報発信
- 「空のしおり-3776-」の整備によるヒト・モノの交流活性化

任意実施事業

- 西側用地の賑わい施設整備に向けたマスタープランの策定
- カーボンニュートラルに向けた計画策定と具体検討

✈️ 空港運営に関する計画

安全・安心の確保

- 改正航空法に基づく保安検査や保安体制構築
- 施設の耐震対策
- 国際線復便に向けた感染症対策の強化
- 緊急時の空港運用体制強化

運営の効率化

- 監視卓業務効率向上及びデジタル化の推進
- 着陸帯除草業務の新技术活用



航空機事故対応訓練の様子 (2020年)

施設の高寿命化及び更新投資の効率化

- 屋上防水工事の施工計画策定
- 航空灯火LED化の基本設計
- 調整池の長寿命化工法実施

